

島根県立松江工業高等学校創立百周年記念事業

募金趣意書

島根県立松江工業高等学校は、明治四十年（一九〇七年）四月に島根県工業教育の草分けとして、松江市南田町に「松江市立工業学校修道館」として開校し、平成十九年（二〇〇七年）に創立百周年を迎える運びになりました。

この間、本校に学んだ回生は二八、〇〇〇有余名の多きに及び、それぞれが優れた資質と能力を発揮しながら、各界各層にわたって広く活躍されておりますことは、誠に喜ばしいことでございます。松江工業高等学校の名を広く全国に知らしめた、バスケットボール部、フェンシング部、ソフトテニス部等の活躍も、我々の記憶に未長く残るものであります。

校名の変遷

- 明治四十年四月 「松江市立工業学校修道館」
- 明治四十二年四月 「島根県立工業学校修道館」
- 昭和十九年四月 「島根県立松江第一工業学校・島根県立松江第二工業学校」
- 昭和二十二年四月 「島根県立松江工業学校」
- 昭和二十三年四月 「島根県立松江工業高等学校」
- 昭和二十四年四月 「島根県立松江産業高等学校」
- 昭和二十八（現）年四月 「島根県立松江工業高等学校」

現在、全日制課程は七学科二学級、定時制課程は四学科二学級を有し、学業に部活動にと充実した高校生活を展開し、その教育の成果は、県内は申すに及ばず、全国的にも注目されております。

このような誇るべく地歩を築くことができたのは、工総会、PTA等関係各位の多大なるご支援によるものと、深く感謝申し上げます。

さて、本校創立百周年を迎えるにあたり、工総会・PTA・学校が一体となり、創立百周年記念事業実行委員会を設立し、記念事業を推進することになりました。

事業内容は、いずれも本校の教育活動の充実に資するものであり、百周年という記念すべき節目にあたって、輝かしい歴史と伝統を継承し、更なる飛躍発展を期するよすがとなるべく、別紙の通り計画いたしました。

つきましては、誠に恐縮ですが、この計画に是非ご賛同賜り、その資金として浄財のご寄付を仰ぎたく謹んでお願い申し上げます。

皆様の深く暖かいご理解とご協力により、この記念事業が成功裡に行われ、松江工業高等学校が一層飛躍・発展するよう、格別のご支援・ご協力をお願いいたします。

平成十八年一月吉日

島根県立松江工業高等学校

創立百周年記念事業実行委員会

委員長（工総会会長）

櫻石 友秋

副委員長（PTA会長）

石田 佑生

副委員長（学校長）

堂上 育生

工総会実行委員会

委員長

恩田 康司

同委員

工総会副会長・機械科卒業生会会長

長岡 茂夫

工総会副会長・電気通信科・電子科卒業生会会長

川口 敦巳

工総会副会長・建築科卒業生会会長

渡辺 保博

土木科卒業生会会長

梅木 武雄

電気科卒業生会会長

宮廻 廣

造船科卒業生会会長

石原 俊巳

工業化学科卒業生会会長

板倉 雅之

定時制卒業生会会長

小池 修

東京支部支部長

難波 明

近畿支部支部長

園山 清吉

広島支部支部長

落合 邦彦

采子支部支部長

永田 卓夫

倉敷支部支部長

稻生 俊雄

石東支部支部長

難波 和夫

安来支部支部長

櫛田 忠利

木次支部支部長

鳥谷 正